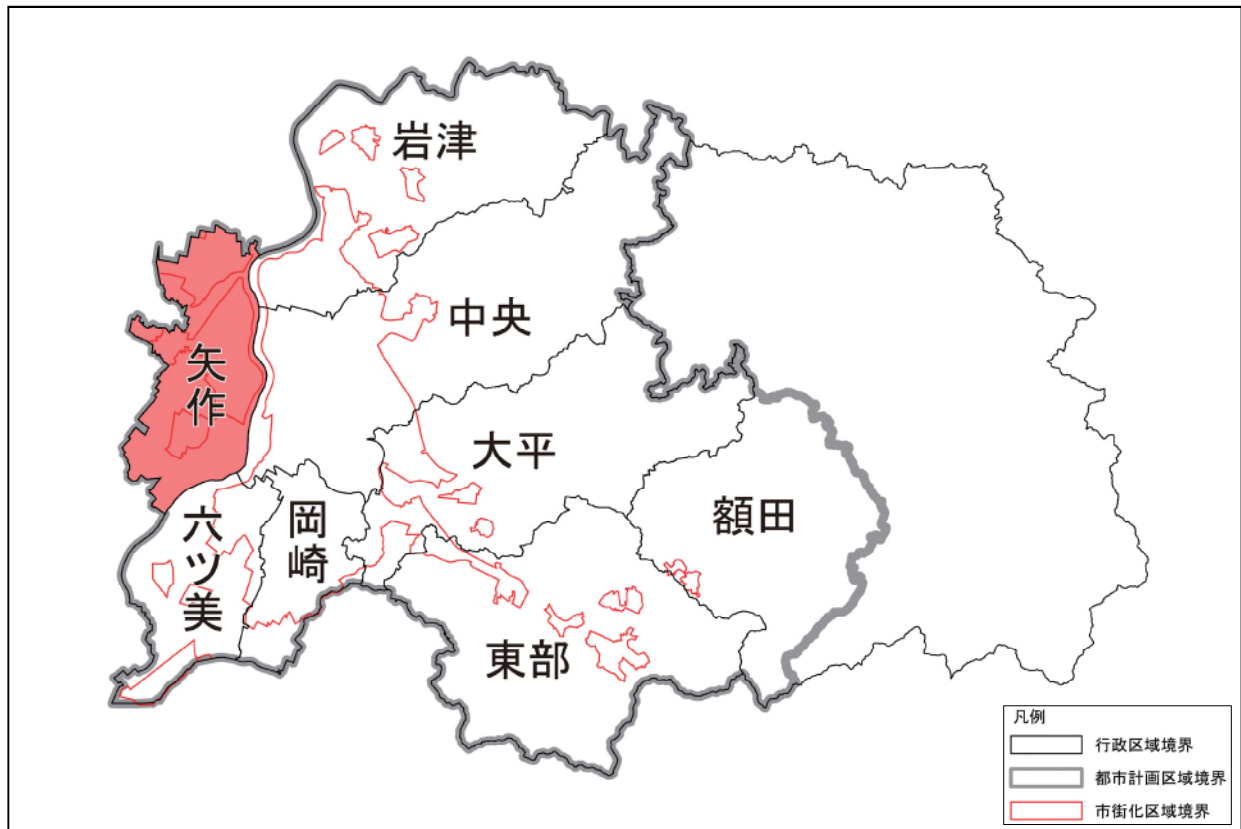


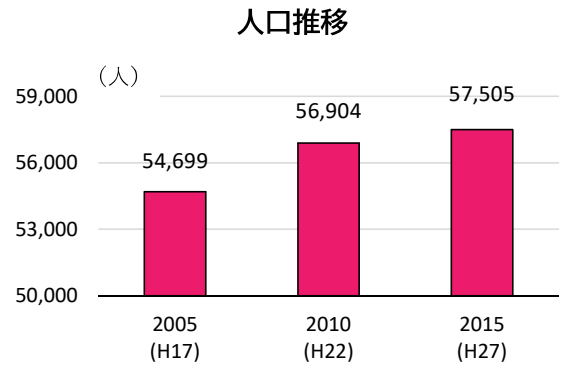
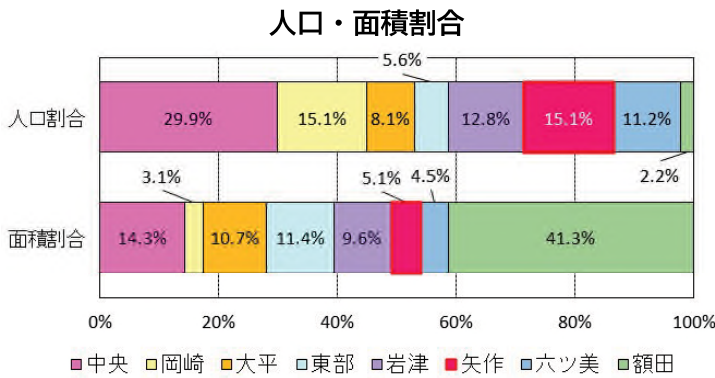
矢作地域

矢作川右岸に広がる平野部にあり、鉄道駅周辺や幹線道路沿いに市街化区域*が指定されており、主に地域の南側の市街化調整区域*には農地と集落が分布しています。

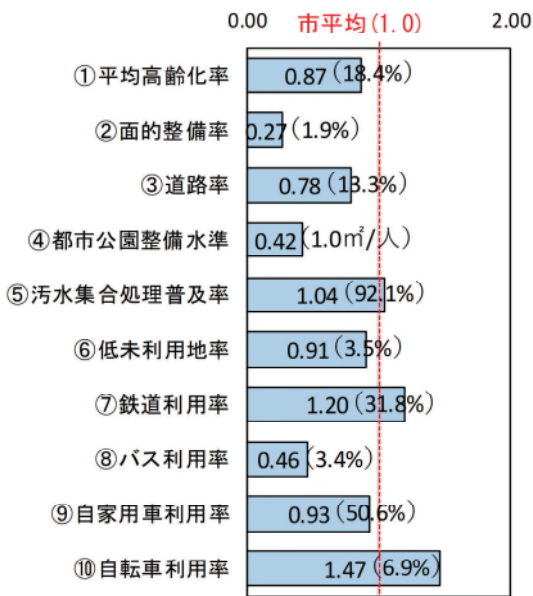


2015年人口：57,505人（市域全体の15.1%）
面積：1,962ha（市域全体の5.1%）

（1）地域の現況

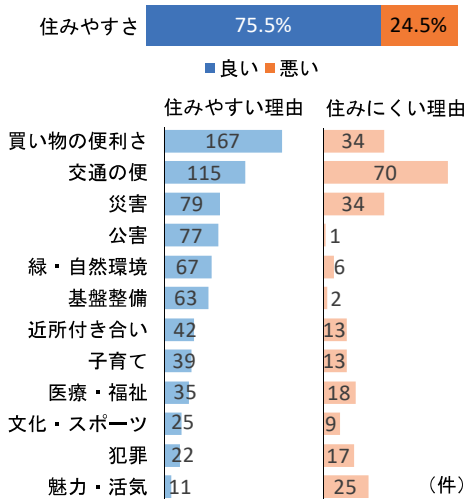


市平均との比較



(市平均値を 1.0 とした相対評価、括弧内は各指標の地域の実績値)

市民意向



現況のまとめ

- ①矢作川右岸の平野部に市街地が形成され、南側は豊かな農地があります。(現況)
 - ②国道1号、都市計画道路※名古屋岡崎線周辺に産業が集積しています。(現況)
 - ③矢作橋駅、西岡崎駅周辺を地域拠点に位置づけ、生活利便性を支える機能の維持・集積を図っています。(現況)
 - ④幹線道路で主要渋滞箇所があり、交通の利便性に課題があります。(現況、意向)
 - ⑤大規模工場の産業観光※といった観光資源や、北野廃寺跡の歴史資源などの地域資源が点在しています。(現況)
 - ⑥矢作川などの浸水想定区域※や地震災害に対する危険性の高い地域があります。(現況、意向)
 - ⑦人口は増加しているものの、増加幅は縮小しています。また、高齢化率は市平均以下となっています。(比較)
 - ⑧面的整備率が平均を下回っています。(比較)
 - ⑨都市公園整備水準が平均を下回っています。(比較)
 - ⑩鉄道利用率は高いものの、バス利用率が平均を下回っています。(比較)
- (現況)：地域の現況 (比較)：市平均との比較
(意向)：アンケート、説明会からの市民意向

(2) まちづくりの課題と目標

<矢作地域の将来像>
 鉄道駅周辺をはじめとした市街地では良好な居住環境※づくりを進め、地域の南側では農地を保全するまちづくりを目指します。

まちづくりの課題	まちづくりの目標
<p>主要課題1 広域的なネットワークの変化への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国道1号や都市計画道路※名古屋岡崎線を生かした産業の強化（現況のまとめ②） 	<p>目標1</p> <p>主要幹線道路周辺の工業集積を生かした産業の更なる振興</p>
<p>主要課題2 コンパクトでスマートな都市づくりへの対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・矢作橋駅や西岡崎駅の交通結節機能※の活用（現況のまとめ③） ・南北方向の幹線道路などの充実（現況のまとめ④） ・公共交通の利便性強化（現況のまとめ⑩） ・無秩序な市街化の抑制（現況のまとめ①） ・自然環境の保全と活用（現況のまとめ①） 	<p>目標2</p> <p>市街地と農地が調和した、利便性の高い環境の創出</p>
<p>主要課題3 住み続けられる居住環境※の質の向上への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路などの基盤施設※の充実（現況のまとめ④） ・矢作橋駅、西岡崎駅周辺における生活利便性の向上（現況のまとめ③④⑦） ・身近な憩いの空間の確保（現況のまとめ⑨） ・良質な居住環境の形成（現況のまとめ③） 	<p>目標3</p> <p>矢作橋駅、西岡崎駅を中心とした利便性の高い居住環境の形成</p>
<p>主要課題4 自然・歴史・文化を生かした都市の活性化、観光振興への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業観光※や史跡北野廃寺跡などの地域資源の活用（現況のまとめ⑤） 	<p>目標4</p> <p>地域資源を活用した魅力ある空間の創出</p>
<p>主要課題5 大規模自然災害などに備えた安全で安心な都市づくりへの対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害に備えたハード・ソフト対策による被害を最小限に抑える取組み（現況のまとめ⑥） ・治水対策の促進（現況のまとめ⑥） ・地震災害に対する取組みの推進（現況のまとめ⑥） 	<p>目標5</p> <p>市民などととともに水害などの危険性を踏まえたハード・ソフト対策の推進による自然災害への対応</p>

（3）まちづくりの方針

土地利用※に関する方針と主な施策

1 地域の特性に応じた良質な居住環境※の形成 目標2 目標3

良質な居住環境の形成

- ・地域の中央と南側には主に一般住宅地を配置し、良質な居住環境の形成に努めます。
- ・工業系用途地域※で大規模な土地利用転換が生じる際は、用途地域の変更や地区計画※を活用し新たな市街地像に沿った土地利用に規制・誘導します。

2 地域の特性に応じた都市機能※の導入・集積による利便性の高い市街地の形成

目標1 目標2 目標3

地域拠点の形成・・・1

- ・地域拠点の矢作橋駅周辺や西岡崎駅周辺に周辺商業地を配置し、地域の玄関口にふさわしい拠点を形成するため、商業施設や医療施設などの地域住民の日常生活に必要な機能の集積を図ります。

沿道サービス施設の立地誘導

- ・都市計画道路※日名橋線や豊田西尾線などの主たる幹線道路の沿道では沿道複合地として、商業や業務などに係る沿道サービス施設の立地を誘導します。

教育機能の維持・充実

- ・文教・学術地では教育機能の維持・充実を図るため、必要に応じて方策を検討します。

3 産業振興に資する新たな産業用地の確保・誘導 目標1 目標3

産業用地の検討・・・2

- ・必要に応じて地区計画などを活用し、既存の工業地などの拡充や幹線道路沿道で工業用地の確保に努めます。

良好な操業環境の保全

- ・地域の北側や南側の大規模工業施設が立地している地区は工業地として位置づけ、住宅地と区分しながら良好な操業環境の保全を図ります。

4 無秩序な市街地拡大の抑制と市街化調整区域※の自然環境の保全 目標2

無秩序な市街化の抑制

- ・市街地の拡散を防止するため、無秩序な市街化を抑制します。

市街化調整区域の自然環境の保全・活用

- ・生物多様性の保全を図り市民が身近に自然を感じられるように、市街化調整区域の農地などの保全・活用を推進します。

集落環境の維持

- ・農地などの田園環境を保全し、大規模集落地では生活環境※の維持に努めます。

市街地整備※に関する方針と主な施策

1 低未利用地※などの利活用の推進 **目標2**

低未利用地の有効活用

- ・計画的な市街地形成のため、一団の低未利用地の土地利用※を検討します。

道路・公共交通に関する方針と主な施策

1 広域道路網※の整備促進、幹線道路網の強化、身近な道路の整備推進

目標1 **目標2** **目標3**都市計画道路※などの整備・・・**3**

- ・地域内や地域間の円滑な交通を確保するため、都市計画道路豊田西尾線の整備や名古屋岡崎線の4車線化を促進し、都市計画道路矢作桜井線や市道小針線、大和新堀線の整備を推進します。
- ・地域の主要渋滞箇所の改善に向け、関係機関と連携し対策を検討します。
- ・快適な歩行者空間や安全な道路交通を確保するため、矢作川右岸南北道路整備事業を推進します。
- ・地域内に存在する法指定踏切の解消に向け、関係機関と連携して対応を検討します。
- ・橋りょうなどの道路構造物は、定期的な点検と計画的な補修・補強を実施し予防保全を図ります。

2 安全で快適な歩行者、自転車通行空間の確保 **目標3**

歩行者や自転車の通行空間の確保

- ・歩行者や自転車利用者が安全で快適に移動できるよう身近な道路の整備を進めます。
- ・通学路交通安全プログラムに基づき、通学路の交通安全対策を推進します。

3 鉄道やバスなどの連携による公共交通ネットワークの構築 **目標2** **目標3**地域拠点間におけるバス交通などの連携強化・・・**4**

- ・拠点間の南北軸の強化を検討するとともに、地域での主体的な取組みを基礎とした移動手段の確保と利便性の向上に努めます。

4 交通結節点の利便性向上のための環境整備、ユニバーサルデザイン※化の推進

目標2 **目標3**

矢作橋駅周辺整備

- ・矢作橋駅では公共交通をより多くの方がより便利に使えるよう、パークアンドライド※やサイクルアンドライド※などの乗り継ぎ利便性の向上を図るとともに、快適な待合空間の整備などバス停環境の改善を検討します。
- ・地域拠点での乗り継ぎ利便性の向上を図るため、駅前広場の整備に取り組めます。

公園・緑地に関する方針と主な施策

1 生産緑地^{*}や社寺林などの自然環境の保全 目標3 目標4 目標5

生産緑地の保全・活用

- ・都市農業^{*}の保全やグリーンインフラ^{*}の観点から、生産緑地の保全と活用を推進します。

身近な地域資源の保全

- ・自然・歴史・文化などの身近な地域資源を保全します。

河川・上下水道に関する方針と主な施策

1 治水・浸水対策の強化 目標3 目標5

河川改修などの促進

- ・矢作川の河川整備流量を安全に流下させるために、河道掘削や樹木伐開を行い必要な河道断面を確保する取組みを促進します。
- ・洪水による災害の発生の防止、被害の軽減のため、矢作川下流域圏（鹿乗川など）の河川改修を促進します。
- ・河川情報の収集と情報伝達体制、警戒避難体制の充実を図ります。

景観・自然環境に関する方針と主な施策

1 景観計画に基づく歴史・文化資源や景観の保全 目標3 目標4

史跡北野廃寺跡の整備

- ・地域の貴重な歴史遺産の保存と活用を図るため、史跡北野廃寺跡の第二次整備に取り組めます。

防災に関する方針と主な施策

1 防災都市基盤の強化による災害に強い都市づくりの推進 目標3 目標5

公共施設の耐震化

- ・橋りょうなどの公共施設の耐震化を推進します。

防災機能を有する道路や広場などの整備

- ・災害時の地域住民の安全を確保するため、避難路である道路や避難地、火災延焼防止機能を有する広場などの整備を図ります。

2 復興事前準備の取組みの推進 目標5

地籍調査^{*}の推進

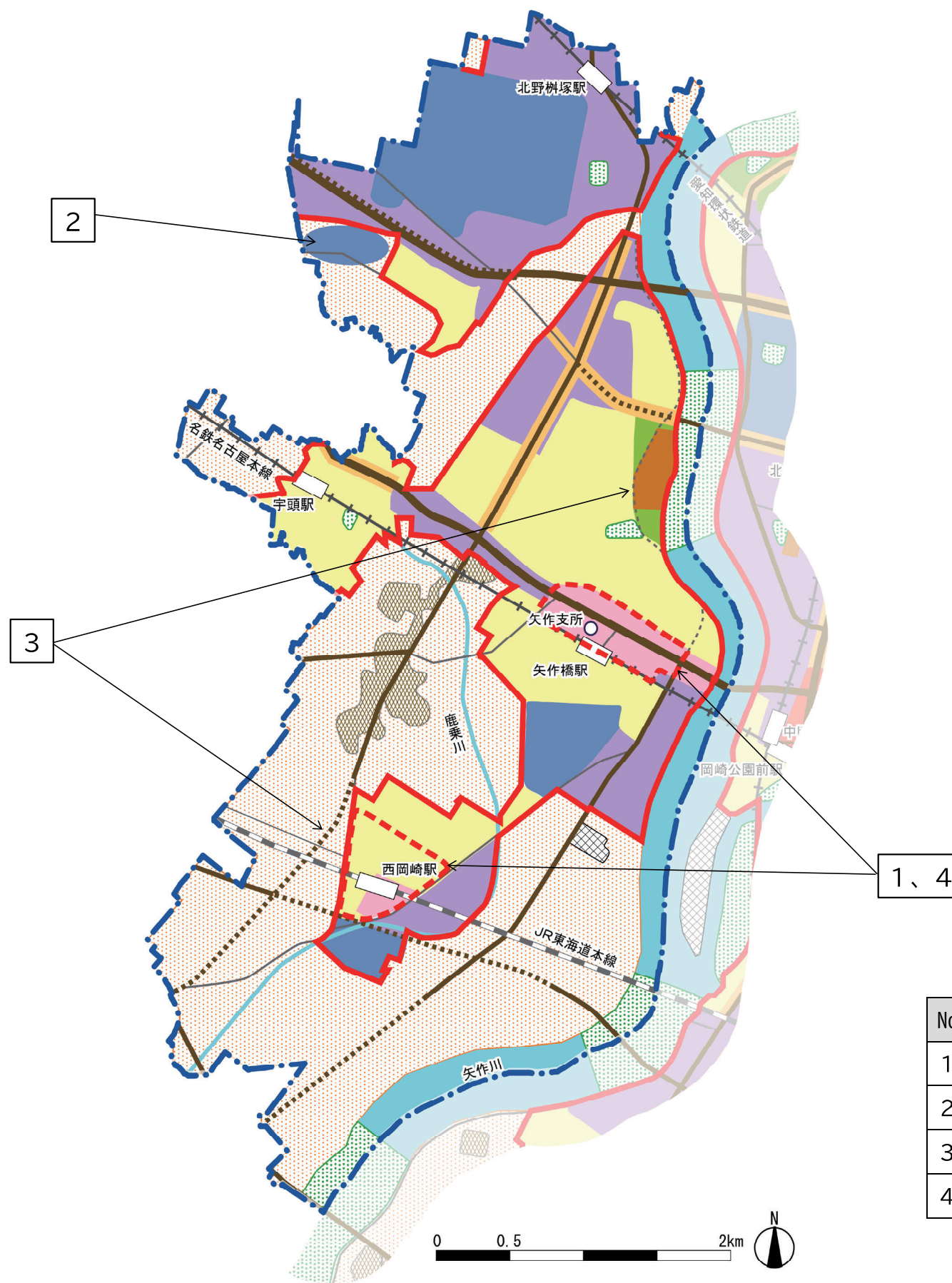
- ・被災後の早期回復などのため、地籍調査を推進します。

災害に備える体制の検討

- ・市民や事業者などとともまちの防災性を向上させる取組みを促し、災害に強く早急な復旧・復興ができる体制を検討します。
- ・地震時の延焼危険性や避難・消防活動の困難性が高い地区や、浸水被害が想定される地区を中心に、地区計画^{*}などにより災害に強いまちづくりを進めます。

まちづくり構想図(矢作地域)

- 凡例
- 市街化区域境界
 - - - 地域境界
 - ⬭ 拠点等の区域
 - 専用住宅地
 - 一般住宅地
 - 沿道複合地
 - 周辺商業地
 - 職住調和地
 - 工業地
 - 大規模集落地(市街化調整区域)
 - 農業保全地(市街化調整区域)
 - その他(市街化調整区域)
 - 文教・学術地
 - 主な公園・緑地
 - 高速道路
 - 主要幹線道路(計画)
 - 都市幹線道路(計画)
 - その他(県道・市道)(計画)



No	施策・事業
1	地域拠点の形成
2	産業用地の検討
3	都市計画道路※などの整備
4	地域拠点間におけるバス交通などの連携強化